

モニタリングサイト 1000 高山帯調査
ハイマツ年枝伸長量データの概要と利用上の注意点

目 次

I. 利用上の注意点	2
II. データセットの概要	3
III. データの内容と説明	3
IV. 参考文献等	7

I. 利用上の注意点

- 本文書にはモニタリングサイト 1000 高山帯調査のうち、ハイマツ年枝伸長量データ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が書かれています。データを利用する際は、必ず「本文書」及び「データの利用方法 (<https://www.biodic.go.jp/copyright/index.html>)」をお読みください。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。
- モニタリングサイト 1000 については、モニタリングサイト 1000 ウェブサイト (<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>) をご参照ください。
- データを利用する際は、論文、プレゼンテーション等にデータの出典を下記の例のように明示してください。
＜データ出典の明示例＞
「xxx のデータについては、環境省・モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる (〇〇〇〇.zip, <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>,よりダウンロード)。」
“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (〇〇〇〇.zip, downloaded from <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>)”.
- データについてのご質問は、本文書の最後に書かれている「お問合せ先」までご連絡ください。
- ウェブサイトで公開されていないデータをご利用になりたい場合は、環境省自然環境局生物多様性センターまでお問合せください。
- データの体裁及び本文書は、予告なく変更される場合があります。

II. データセットの概要

- ・ハイマツ個体の優勢な幹を対象に長枝の年枝¹⁾の長さ（年枝伸長量）を過去 20 年程度までさかのぼって計測し²⁾、各年次の年枝伸長量を推定したデータです。
- ・調査時期は 8 月中旬以降とし、5 年間隔で実施しています。
- ・調査方法の詳細は、高山帯調査マニュアル ハイマツ年枝伸長量 (<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>) をご参照ください。
- ・データファイルは、調査プロット、調査年毎に分かれています。

1) 年枝とは一年間に成長した枝のこと。

2) ハイマツの長枝は一般に枝先の頂芽から生じ、主に夏の生育期間内に伸長する。この期間の後半には新しい頂芽を形成し始め、その基部には芽鱗（芽を保護する機能をもつ鱗片状の葉の集合体）の痕跡を形成する。この芽鱗痕に挟まれた長さを一年間に伸長した長さとし、過去にさかのぼってある年の年枝伸長量を計測することができる。

III. データの内容と説明

- ・ファイル名の例
モニタリングサイト 1000 高山帯調査のコード (mot-az) _ サイト ID + 調査プロット ID + 調査項目 (pinuspumila) _ 測定期間
- ・それぞれの Excel ファイルは、調査日や調査地点等を入力した「概要シート」と、調査結果を入力した「調査票」からなっています。
- ・公開することで乱獲等のおそれがあるデータについては、非公開となっています。また、データ取得者が研究論文の発表までは優先的に利用することを希望したデータについては、非公開期間を設定しています。

<ハイマツ年枝伸長量データのファイル一覧>

サイト名	プロット名	ファイル名
1 大雪山	黒岳石室	mot-az_1i_pinuspumila_20120921 mot-az_1i_pinuspumila_20180916 mot-az_1i_pinuspumila_20220827-0914
	赤岳コマクサ平	mot-az_1j_pinuspumila_20120905 mot-az_1j_pinuspumila_20180929 mot-az_1j_pinuspumila_20220826-0929
2 北アルプス (立山)	みくりが池	mot-az_2d_pinuspumila_20100913-0915 mot-az_2d_pinuspumila_20151018-1021 ¹⁾ mot-az_2d_pinuspumila_20201003-1016
	別山	mot-az_2e_pinuspumila_20100914 mot-az_2e_pinuspumila_20150916-1008 ²⁾ mot-az_2e_pinuspumila_20200920-1007
4 白山	千蛇ヶ池南方風衝地	mot-az_4b_pinuspumila_200910middle mot-az_4b_pinuspumila_20141009 mot-az_4b_pinuspumila_20181018 mot-az_4b_pinuspumila_20231012-1013
	展望歩道	mot-az_4h_pinuspumila_200910middle mot-az_4h_pinuspumila_20141010 mot-az_4h_pinuspumila_20191016 ³⁾
5 南アルプス (北岳)	登山道下部	mot-az_5d_pinuspumila_200908last mot-az_5d_pinuspumila_20130914 mot-az_5d_pinuspumila_20180822 mot-az_5d_pinuspumila_20230823
	登山道中部	mot-az_5e_pinuspumila_200908last mot-az_5e_pinuspumila_20130914 mot-az_5e_pinuspumila_20180822 mot-az_5e_pinuspumila_20230823

1) 年枝番号 No35 (新札番号 No315) の年換算 2002 の値を 83→8.3 に 2021 年に修正しました。

2) 年枝番号 No23 (新札番号 No303) の年換算 2007 の値に、2006 が含まれていたため、2021 年に修正したデータを追加しました

3) 年枝番号—新枝番号の No. 10-No. 80、No. 11-No. 81、No. 12-No. 82 を、No. 10-No. 81、No. 11-No. 82、No. 12-No. 80 に 2023 年に修正しました。

<概要シート>

調査項目：本データファイルの調査項目名（ハイマツ年枝伸長量調査）

サイト名：本データが観測されたサイトの名称

プロット ID：本データが観測されたサイト内のプロットのシリアル ID（d はハイマツ年枝伸長量共通）

プロット名：本データが観測されたサイト内のプロットの名称

現地調査主体：本データの観測を行った調査主体の名称

調査代表者：現地調査主体の代表者氏名

調査者：現地で調査を行った者の氏名

現地調査日：現地で調査を行った日付

北緯（°）：本データの観測プロット位置の緯度情報
小数点第2位以下が、非公開になっている場合があります。

東経（°）：本データの観測プロット位置の経度情報
小数点第2位以下が、非公開になっている場合があります。

標高（m）：本データの観測プロット位置の標高情報

位置情報の取得方法：観測プロットの位置情報を取得した手段

データの保護の必要性：原データを保護する必要性の有無

非公開期間：原データを非公開とする期間

位置情報の保護の必要性：原データの位置情報の保護の必要性の有無

備考：その他特記事項

例:

項目	記入例
調査項目	ハイマツ年枝伸長量調査
サイト名	○●岳
プロットID	4Cd
プロット名	高山荘
現地調査主体	自然調査の会
調査代表者	山田太郎
調査者	佐藤花子、加藤二郎
現地調査日	2011/7/1、8/10、10/12
北緯(°)	36.564377
東経(°)	139.206396
標高(m)	2,450
位置情報の取得方法	GPS を使用
データの保護の必要性	なし
非公開期間	なし
位置情報の保護の必要性	なし
備考	

<調査票>

年換算：調査年から換算された年次

年枝番号：調査年を0とし、枝の先端から測定可能な根元までの連番

No：調査対象としたそれぞれの枝の番号

数字：年枝伸長量（mm）

計測年枝数：それぞれの枝ごとに計測された年枝数

幹長：幹先端から根元までの長さ（cm）

鉛直高：根元から鉛直方向に測定した最も高いところにある幹の高さ（cm）

根元直径：根元で測定した幹の直径（cm）

球果の有無：当年の球果の有無

最大葉齢：葉が付いている最も古い年枝の齢。幹の先端から数えて何年目の年枝にまで葉が付いているかで求める。

※最終年である年枝番号 0 の年枝伸長量は、調査時期によっては伸長途中の長さの可能性もあるため、使用にあたっては注意が必要です（計測されていない場合もあります）。

例：

モニタリングサイト 1000 高山帯調査 ハイマツ年枝伸長量調査用 調査票

年換算	2014	2013	2012
年枝番号	0	1	2
No.301	78	54	66
No.302	65	51	31
No.303	64	31	79
No.304	52	50	75
No.305	28	55	27
No.306	58	46	62
No.307	79	51	73
No.308	32	69	32
No.309	27	72	79
No.310	45	53	37
No.311	75	72	61
No.312	79	31	71
No.313	65	72	68
No.314	44	51	71
No.315	29	41	51
No.316	50	61	49
No.317	70	49	53
No.318	62	30	55
No.319	37	64	58
No.320	55	79	37
No.321	45	77	27
No.322	28	71	58
No.323	35	29	66
No.324	42	73	43
No.325	72	43	62
No.326	70	50	53
No.327	70	73	78
No.328	72	46	60
No.329	41	42	44
No.330	41	61	40

『中略』

1986	1985	計測 年枝数	幹長 (cm)	鉛直高 (cm)	根元直径 (cm)	球果の 有無	最大葉齢 (年)	備考
29	30							
		23	302	444	10.1	あり	—	
		27	362	379	11.8	なし	7	
		22	410	379	7.9	あり	3	
		28	226	205	4.8	あり	12	
		24	422	384	12.7	あり	12	
		24	454	175	10.1	なし	7	
		21	462	260	12.5	なし	4	
		28	263	397	7.2	なし	3	
		27	362	192	6.1	あり	7	
		27	268	160	6.8	なし	—	
		21	422	402	6.3	あり	6	
		20	399	223	7.6	あり	8	
		26	222	150	11.9	あり	8	
		25	317	176	12.8	なし	4	
		22	386	104	10.5	なし	8	
		25	216	235	8	なし	8	
37	36	30	394	253	11	あり	8	
		21	339	429	12.7	なし	11	
		27	441	229	12.5	あり	11	
		25	303	306	10.3	あり	10	
		23	463	138	8.7	あり	6	
		21	354	226	10	なし	12	
		28	458	137	5.5	なし	—	
		23	228	198	10.8	なし	8	
		24	382	111	12.4	あり	12	
		28	356	369	9.7	なし	9	
		23	468	151	12.5	あり	10	
		21	436	138	4.8	あり	4	
		21	405	169	7.4	あり	9	
		24	302	117	7.7	なし	8	

IV. 参考文献等

モニタリングサイト1000 高山帯調査マニュアル
<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト
<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

作成 2024 年 9 月

お問合せ先（2024 年 9 月現在）

一般財団法人自然環境研究センター
モニタリングサイト 1000 高山帯担当者
〒130-8606
東京都墨田区江東橋 3-3-7
Tel: 03-6659-6310 Fax: 03-6659-6320

環境省自然環境局生物多様性センター
担当：保全科
〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
Tel: 0555-72-6033
E-mail: biodic_webmaster@env.go.jp